

2017（平成 29）年度 学校法人池坊学園 決算概要

■資金収支計算書

収入の部合計	1, 387, 426千円	
当年度収入合計	605, 950千円	①
前年度繰越支払資金	781, 476千円	
支出の部合計	1, 387, 426千円	
当年度支出合計	694, 712千円	②
次年度繰越支払資金	692, 714千円	

当年度の収支は、前年度より88, 762千円（②－①）減少して資金支出超過となった。なお、借入金返済および利息を除くと、55, 705千円の支出超過となる。

○資金収支計算書＜収入の部＞

当年度収入合計（前年度繰越支払資金を除く）

予算	603, 605千円	
決算	605, 949千円	予算に比し2, 344千円の収入増

＜予算に比して増加の主な内訳＞

* 雑収入	施設利用料収入	1, 597千円
	雑収入	645千円
	→こころホールなどの施設貸出が予想していたより増加	

* その他の収入	貸付金回収収入	2, 400千円（※）
	預り金受入収入	1, 993千円

※貸付金回収収入

前年度に解散をした池坊学園生活協同組合の貸付金は、当初 3,000千円であったが、前年度末の時点で全額回収できないことが判明したため、前年度決算にて600千円の徴収不能金を計上した。そのため、今期6月に生協からの振込を確認し回収に至った。

＜予算に比して減少の主な内訳＞

* 前受金収入（納付金）		4, 802千円
	→予算時は200名で算出していたが、納付金の納入方法が一括ではなく半期を選択する傾向が大きくなっていることと、コース実習費のかかるコースへの入学者数が減少したことによる。	

○資金収支計算書＜支出の部＞

予算	707, 889千円	
決算	694, 711千円	予算に比し13, 178千円の支出減

＜予算に比して増加の主な内訳＞

* 人件費支出		3, 823千円
	→幼保教員等の退職者（退職金支出）の増加	

<予算に比して減少の主な内訳>

* 教育研究経費支出	7, 302千円
* 予備費未使用	10, 000千円

■事業活動収支計算書

○事業活動収支差額

教育活動収支	収入の部	616, 761千円
	支出の部	747, 365千円
	教育活動収支差額	△130, 604千円
教育活動外収支	収入の部	68千円
	支出の部	914千円
	教育活動外収支差額	△846千円
特別収支	収入の部	22千円
	支出の部	704千円
	特別収支差額	△681千円
基本金組入額		△3, 487千円
当年度収支差額		△135, 620千円

※教育活動収支 支出の部 のうち、減価償却費は112, 237千円である。

○収支差額

予算	△166, 339千円
決算	△135, 620千円
差額	△30, 718千円

予算より30, 718千円赤字が減少した。

要因として、資金収支でも述べたように収入の部にて雑収入（施設利用料など）が2, 036千円増加したこと、支出の部にて教育研究経費が7, 451千円、管理経費で1, 502千円が予算より減少したことが大きい。

また予備費10, 000千円が未使用であったことも要因の一つである。

■貸借対照表

○資産の部

前年度末	6, 625, 570千円
本年度末	6, 434, 812千円
差引 減少額	190, 757千円
固定資産の減少	99, 136千円
流動資産の減少	91, 620千円

※固定資産の減少は、本年度減価償却に伴う減少が大きく、流動資産の減少は、現金預金の減少と短期貸付金（生協）の回収による減少が主な要因である。

○負債の部

前年度末	700,932千円
本年度末	642,308千円
差引 減少額	58,624千円

※負債の減少は長期借入金および退職給与引当金の減少が主な要因である。

○基本金の部、事業活動収支差額の部

第1号基本金は3,487千円の基本金組み入れにより9,494,727千円となった。

また、翌年度以降に組入れを行う基本金未組入額は、未払の防災設備工事の151千円である。

翌年度繰越収支差額は135,620千円増加して△3,752,222千円となった。

【第1号基本金とは】

学校法人が設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるもの又は新たな学校の設置若しくは既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のために取得した固定資産の価額。

【第4号基本金とは】

恒常的に保持すべき資金。(おおよそひと月分の運転資金に相当する額)

以上